

# Mémoires 2020

## ジャパンカップ

第40回ジャパンカップ(GI)優勝馬アーモンドアイ



## 歴史的一戦で有終の美を飾る



▲逃げるキセキ(帽色・赤・右)は大きくリードを保ったまま4コーナーを回り、直線へ向かう。



▲自身の最多記録を更新する国内外の芝GI 9勝目を挙げたアーモンドアイ。

3頭の「三冠馬」対決が実現した歴史的一戦で、女王が有終の美を飾った。

2018年の牝馬三冠制覇を皮切りに、前走の天皇賞(秋)までに重ねた国内外の芝GI勝ちは史上最多の8つ。このレースを最後に現役を引退する稀代の名牝アーモンドアイに、無敗の三冠馬コントレイル、同じく無敗の牝馬三冠馬デアリングタクトという2頭の3歳馬が挑む。第40回の節目を迎えたジャパンカップは、過去の日本競馬でも例のない3頭の三冠馬が揃う一戦となった。

レースは一昨年の2着馬キセキの大逃げで進んだ。アーモンドアイは離れた先行馬群の中。そのすぐ後ろにデアリングタクトがいて、コントレイルは中団の9番手に位置した。1000m通過は57秒9。ペースをほとんど緩めることなく、優に15馬身はリードを保ったまま4コーナーを回るキセキ。内から2番手に上がったグローリーヴェイズを筆頭に、後続もそれを追って直線に向く。

残り400m、そこまで抜群の手応えで追い上げていたアーモンドアイにクリストフルメール騎手がゴーサインを送ると、一瞬にしてスピードを上げ、周囲の馬を突き放す。あっという間にグローリーヴェイズを捉え、脚の止まったキセキを交わしたのは残り100m手前。あとは独走だった。競り合いながら伸びてきたコントレイル、カレンブーケドール、デアリングタクトの3頭がグローリーヴェイズを飲み込んで4頭のひと塊になった瞬間、その1馬身以上前で、アーモンドアイは悠々とゴールを駆け抜けていた。

大激戦の2着争いを制したのはコントレイルで、3着は写真判定の結果、デアリングタクト。3頭の三冠馬が1、2、3着という、まさに伝説として語り継がれるべき結果となった。

アーモンドアイはジャパンカップ2勝目で、自身の史上最多記録を更新する国内外の芝GI 9勝目。JRA以外の競走を含む総獲得賞金は19億円を超え、歴代トップとなった。

またルメール騎手はこの年のJRAのGI 8勝目で、自身が2018年に樹立した年間最多勝記録に並んだ。アーモンドアイの全15戦中、14戦でコンビを組んだ名手は「今日は、さよならパーティーでした。アーモンドアイはこれから牧場に帰って子供を作ります。また子供を応援してください」と、その見事なラストランでの勝利を喜んだ。

### 第40回ジャパンカップ(GI)

11/29 東京競馬場 2400m(芝・左) 曇・良 15頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	アーモンドアイ	牝5	55	C.ルメール	国枝 栄	2:23.0	①	4 5 4 4
2	コントレイル	牡3	55	福永 祐一	矢作 芳人	1 1/4	②	9 9 9 9
3	デアリングタクト	牝3	53	松山 弘平	杉山 晴紀	クビ	③	7 7 7 7
4	カレンブーケドール	牝4	55	津村 明秀	国枝 栄	ハナ	⑤	7 8 7 6
5	グローリーヴェイズ	牡4	57	川田 将雅	尾関 知人	クビ	④	4 4 2 2
6	ワールドプレミア	牡4	57	武 豊	友道 康夫	3	⑦	10 10 7
7	ミッキースワロー	牡6	57	戸崎 圭太	菊沢 隆徳	クビ	⑩	12 12 10
8	キセキ	牡6	57	浜中 俊	角居 勝彦	2	⑥	1 1 1 1
9	マカヒキ	牡7	57	三浦 皇成	友道 康夫	クビ	⑪	13 13 10
10	ウエイトゥパリス	牡7	57	M.デムーロ	A.マルチアリス	2 1/2	⑨	15 15 15
11	パフォーマプロミス	牡8	57	岩田 望来	藤原 英昭	1	⑫	10 11 12
12	ユーキャンスマイル	牡5	57	岩田 康誠	友道 康夫	1	⑧	14 14 12
13	クレスシェンドラヴ	牡6	57	内田 博幸	林 徹	2	⑭	6 5 4 4
14	トールスジェミニ	牡4	57	田辺 裕信	小椋山 悟	1 3/4	⑮	3 2 2 2
15	ヨシオ	牡7	57	勝浦 正樹	森 秀行	大差	⑬	2 2 6 12

単勝 ②220円 複勝 ②110円 ⑥110円 ⑤120円 枠連(2-4)350円  
馬連 ②-⑥330円 馬単 ②-⑥10円 ワイド ②-⑥170円 ②-⑤190円 ⑤-⑥220円  
3連複 ②-⑤-⑥300円 3連単 ②-⑥-⑤1,340円

ハロンタイム 12.7-10.8-11.8-11.3-11.3-11.5-11.8-11.9-12.1-12.3-13.2-12.3  
通過タイム 600m ③35.3-800m ④46.6-1000m ⑤57.9-1200m ⑥1:09.4-1400m ⑦1:21.2-1600m ⑧1:33.1-1800m ⑨1:45.2-2000m ⑩1:57.5-2200m ⑪2:10.7

#### 優勝馬 アーモンドアイ

2015.3.10生 父ロードカナロア 母フサイチパンドラ 母の父サンデーサイレンス  
安平・ノーザンファーム生産 馬主:(有)シルクレーシング